

生きものモニター通信 vol.01

発行:世田谷区みどりのみず政策担当部みどり政策課 〒154-8504世田谷区世田谷4-21-27 電話:03-5432-2536

水鉢からはじめよう!

つくってみよう!

生きものを呼ぶ
「ちょこっと空間」

「ちょこっと空間」づくり生きものモニター

自宅で作成した水鉢の成長経過を報告していただく取り組みです。いただいた情報は発信していきます。



モニターのコアジサシさんから「ハグロトンボ」の報告を頂きました

「ちょこっと空間」づくり 講習会を実施しました。

みどりと生きものの豊かな街づくりを進めていくための事業の一環として、本年6月に生きものを呼ぶ「ちょこっと空間」づくり講習会を実施しました。

講習会では、植物生態コンサルタントの泉健司さんに講師となっただき、トンボ・チョウ・鳥などの様々な生きものを呼ぶことができる、庭やベランダの緑化空間づくりの方法や、生物多様性の環境づくりについてお話していただきました。また、実際に水鉢を使用し、簡単なビオトープの作り方を実習しました。

講習会に参加された方には、水鉢、伊勢さび、ヒメダカ、ヒメスイレンなどを配布し、ご自宅でビオトープづくりを実践していただきました。作成していただいた自慢のビオトープの変化の様子を、モニターとして、報告していただいています。(2～3頁)

水鉢の作り方



フラワーランドの水鉢



砂利(伊勢サビ)



ヒメスイレン



ヒメダカ

- ① 枯れ枝などで、真中に仕切りを作ります。
- ② 仕切りの一方は、砂利を入れて鳥が水浴びもできる浅瀬にします。浅瀬には、浅瀬に育つ植物を入れます。
* 砂利は伊勢さびのように、表面がざらざらした石にすると、バクテリアが棲みついて有機物を分解し、水質浄化に役立ちます。
- ③ 仕切りのもう一方の水深の深いほうにヒメスイレンを入れます。
- ④ 水を入れます
* 鳥がおぼれないように、浅瀬の水深は2～3cmにします。
- ⑤ ヒメダカやタニシを入れます。
* ヒメダカを水鉢に入れるのは、ボウフラの発生を防ぐためです。



6月24日講習会の様子



「ちょこっと空間」づくり講習会参加者のコメント

- 様々な生きものの食草などを多く紹介していただいてとても勉強になりました。(ゆっこさん)
- ビオトープガーデンは生きものが自由気ままに行き来する所だという説明が印象的でした。(ふくらすずめさん)
- 多くの生きものが見られる区ですが、身近で出来るビオトープ作りの取り組みは良いと思う。(まーちゃんさん)
- 自分もビオトープガーデンをつくることで、自然に生きものが増える一助になるのなら嬉しい。(匿名希望)
- チョウ向き、ハチ向きの花があるなんて知りませんでした。興味深いです！(匿名希望)

7/10までの報告 観察シート①



akaさん



アイスバーグさん



岡 公一さん



ふるべんさん



ほけきょさん



ドロンコさん



ゆなっぴさん



コアジサシさん



敏造さん

講習会終了後、第一回目のモニター報告では、水鉢を置いた所・工夫したところ・気づいたこと・今後の予想等の項目を設け、提出していただきました。ベランダやウッドデッキ、玄関や裏庭など様々な場所に設置されているようです。水鉢の中で泳いで水草をつつくメダカの可愛い様子や、通り掛かりの子どもがそのメダカの様子をモニターさんに報告してくれたという場面のレポートも拝見できました。今後の報告が楽しみになる「ちょこっと空間」が続々と各ご家庭で作られています。



みどり政策課



メダカ 100さん



アツコさん



おじさんさん



キノさん



さよさん



しろさん



Mさん



Masuさん



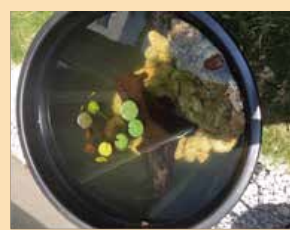
せたがやたがやせさん



匿名希望



水と緑のママさん



ryukopineさん



あいかママさん



ななまむさん



ひめだかちゃんさん



フッカさん

(アンケートより抜粋)

- 「他地域のいきものを持ち込んだビオトープは作らない」その通りだと思いました。(ちーくんさん)
- 植える植物、つくり方で集める生きものを選べることを知れて大変役立つ講義でした。(ゆなっぺさん)
- 呼びたい生きものを植物で選択できるということを初めて知り、これは楽しめると思いました。(akaさん)
- 地域の生きもののことを考えて、自宅のビオトープが地域とつながると楽しそう。(うえちさん)
- お話を聞いて自分の庭でいろんな生きものを呼んでみたいと思いました！(匿名希望)

9/20までの報告 観察シート②



akaさん



アイスバーグさん



岡 公一さん



ビジターセンター



フラワーランド



ふるべんさん



ほけきょさん



ドロンコさん



moonbowさん



匿名希望



ゆなっぴさん



コアジサシさん



敏造さん



みどり政策課



メダカ 100さん

報告があった生きものの写真



ヤマトシジミ



ハグロトンボ



ジャコウアゲハ



トカゲ



シジュウカラ



羽化したトンボ

第二回目のモニター報告は、期間中見つけた生きものやくらしの中で変わったこと、モニターを通し感じたことについて写真とともに報告いただきました。日々水鉢を観察することの楽しみや、水質管理や環境を保つことの難しさを感じたというコメントを多く拝見しました。

また期間中に生きものを発見したという写真付きの報告もいただきました。(左写真参考) 中には珍しいハグロトンボの写真も。写真を送って下さったみなさまありがとうございます。(コアジサシさん、アイスバーグさん、ゆなっぴさん)



水鉢の管理方法にお悩みの方はフラワーランド(瀬田農業公園)園芸相談をご利用ください。

毎日(年末年始を除く)午前10:00~午後4:00 (電話相談も可能です) 03-3707-7881

※都合により園芸相談員が不在場合があります。来訪の場合は、電話にて事前にご確認ください。

講師からのコメント

皆さん思い思いに工夫されているようで、報告を興味深く読ませていただいております。日あたりのいい場所に置いた睡蓮鉢の水温の上昇を抑えるために、ホテイアオイなどのウキクサで水面を覆うのはなかなかいい手なのですが、水面をすべて覆いつくしてしまうとトンボが産卵場所として発見できなくなってしまうのが難点です。そこで、細い木の枝などでホテイアオイを片隅に寄せて水面が覗くようにしておくと、トンボが産卵しやすくなります。

9月も後半になると南の国から台風に乗ってウスバキトンボがベランダにもやってくるようになります。そして10月、夜風が涼しくなってくると山から赤トンボ(アキアカネ)が里に下りてきて、街中を飛ぶようになります。シオカラトンボやイトトンボの仲間がまだ来ていないからと言って諦めるのはまだ早いですよ。トンボのエサになるハナアブなどの虫を呼びよせるために、蜜源になる植物の寄せ植えを置いたりする手もあります。

一重咲きでほぼ1年中花が咲くランタナや三尺バーベナやガウラ、秋の賑わいにユウゼンギクなどもお勧め。睡蓮鉢に鳥を呼びよせたいときは、水場があることを発見されやすくする工夫も大切だったりします。鳥の好きな実のなる木を植えてみたり、巣箱をかけたりするのも効果的です。冬場なら餌台を置いて、殻着きの小鳥の餌や果物の切れ端を置いてみるのもいいかもしれません。

泉 健司

植物生態コンサルタント

東京農業大学農学科副手を勤めた後、環境アセスメントをはじめとした各種植生調査などの仕事に従事。1996年ビオトープ・ガーデンを提唱。著書『小さなビオトープ・ガーデン』、『親子で学ぶ身近な自然かんさつ』、共著『地球とつながる暮らしのデザイン』など。

ホームページ

<http://biotopegarden.jp/>



フラワーランドのみどりの専門員から 冬に向けてのアドバイス

夏場にアオコの発生などで濁りがちだった水も、寒くなるにつれて次第に澄んできます。スイレンなどは水面に出ている葉が枯れ、水中葉だけとなります。水草の枯れ葉などを少し取り除き、水面を広げるように心がけてください。

また冬場は水の凍結が考えられます。プラスチック製の水鉢ではほとんど見られませんが、陶器製の水鉢では中の水が凍結し、割れてしまうことが考えられます。対策として風当たりの少ない場所へ水鉢を移動し、特に冷え込む日には不織布などをかけておくことも必要になります。

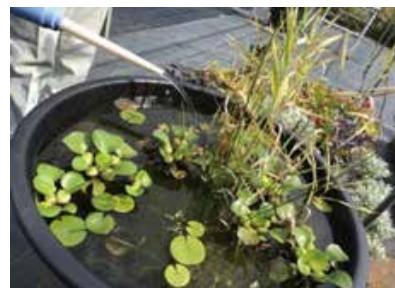
冬場は夏と違い、乾燥する季節です。定期的な水鉢の水位をチェックし、水が減っていたら足しておくことを忘れないよう気を付けてください。水の管理をしっかりしていると朝方に冬鳥が水を飲みにくるかもしれません。ぜひカメラに収めてみてください。またメダカは水底でじっとしています。手入れの際に驚かさないように気を付けてください。



水鉢の枯葉を取り除く



不織布をかけて保温



水を足して水位を管理

編集後記・次回報告の締め切り

みなさんの報告はいかがでしたか。今回のニュースレターは提出いただいた写真を中心にご紹介いたしました。今回掲載できなかった面白いレポートは次回のニュースレターで紹介したいと思います。

次回のモニター報告締め切りは11月20日(月)です。素敵な報告をお待ちしております！

よろしくお願いします！次回ニュースレターでは提出いただいたレポートを中心に伝えします！